



2018 FACT BOOK

ファクトブック

CONTENTS

■ プロフィール	2
■ 企業理念	3
■ 事業内容／製品コンセプト	4
■ テクノロジー／研究開発	5
■ 商品［ブランド］	8
■ 特約店／販売代理店	11
■ アイメトリクスの沿革	12

プロフィール

会社名（商号）

株式会社アイメトリクス・ジャパン（英語名：EYEMETRICS JAPAN CO.,LTD）

代表者名

代表取締役社長 高橋 禮

設立年月日

1990年7月24日

所在地

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1丁目16番地7号 ハイウエービル4階

主な事業内容

眼鏡小売業・株式会社イワキと、スイス国EYEMETRICS SYS AGの
共同出資による合併会社として発足。アイメトリクスシステムによる
3次元計測器のレンタル、コンプリート眼鏡製作及び卸売。

資本金

90,000,000円

売上高（2018年度）

461,226,515円

従業員数

26名(内パート社員6名)

アイメトリクス・ジャパンの理念

代表取締役社長

高橋 禮

私たちアイメトリクス・ジャパンは1990年7月の設立以来、「メガネは一人ひとりに設計すべき」「製品開発も技術も先進であるべき」という不変の使命を掲げ、業界の既存技術に頼ることなく自主の道を歩んでいます。

メガネ業界の市場拡大を目標に、軽くてズレないスポーツユースのメガネという付加価値を携え、参入して30余年。機能性を追求するメガネとして、フレームの MATERIAL をはじめ製造手法においても独自のスタイルを構築するに至りました。アイメトリクス製品の根幹となる顔の計測システム（アイメーター）はその象徴であり、今なお未来を見据えた新しい機能の開発に取り組み、改良進化を重ねることで、次代を牽引する創造企業としての真価を発揮し続けます。

「メガネはフレームとレンズが組み合わされて始めてユーザー仕様となる」。アイメトリクス・ジャパンの、顔を計測してフレームを組み立てるオーダーメイドのメガネは、その想いの体現です。同時に、製造者責任の基本を「品質を常に向上させ、維持させること」と考え、私たちは、ユーザー様がアイメトリクス製品の使用を継続される限り、メンテナンスなどあらゆる要求への対応を怠りなく準備することを約束いたします。「個々の製造データを管理すること」「改良を重ねながらパーツの製造維持を継続すること」「販売後のサポートを行うこと」。それらを徹底させることこそが、ユーザー様のニーズや利益を守ることになると確信し、最大限の努力をいたします。

最後に、私たちアイメトリクス・ジャパンは、ユーザー様一人ひとりと一生涯お付き合いできるメーカーであり続けることを約束いたします。

事業内容／製品コンセプト

事業内容

イワキメガネとアイメトリクス・システムズ社（スイス）は、1988年12月にアイメトリクスの製品を日本で発売開始する目的でアイメトリクス事業部を立ち上げ、1990年7月に株式会社アイメトリクス・ジャパンの名称で合併会社を設立。以来、顔の立体形状を3次元計測して組み立てるオーダーメイドのメガネとして国内外の注目を集め、その世界唯一の製造システムとビジネスモデルを進化させながら、現在では10種以上のブランドを展開しています。

2010年11月、株式会社アイメトリクス・ジャパンは、アイメトリクス・システムズ社が保有している特許・商標・著作の権利とアッセンブリ技術を買収し、資本を含め現在100%の法人企業として運営しています。既に国内において、レーザースキャニングによる計測システム「新アイメーター」の開発をはじめ、独自の技術によるフレーム開発など新しいメガネ作りに挑戦し、確固たるマーケットを構築。全国のメガネ専門店とのフランチャイズ契約を基に、「アイメーター」のリースと操作トレーニングを行い、お客様一人ひとりにコンプリートしたメガネの製造と特約店への卸売を展開しています。

また、ご使用のモデルをいつまでもご愛用いただけるよう、ユーザー様の3次元データならびにラボデータの管理、パーツの確保を継続し、特約店と共にユーザー様からのリピートやリペアーに随時お応えできるサポートシステムを構築しています。

製品コンセプト

アイメトリクスのメガネ設計は機能性を第一に考え、製品は常に軽量マテリアルとミニマルコンストラクションを念頭に、既存のフレームとは異なる独自の製法と開発アプローチを持って商品をリリース。保有する10種のブランドのデザインコンセプトはすべて「アイメトリクスのメガネ」を認知できるフォルムであることを継承しております。

また、イメージキャラクターの古田敦也・岡田武史・倉本昌弘・服部真夕をはじめ、多くの著名な方々からの支持をいただくと同時に貴重な意見をヒアリングし、製品開発にフィードバックさせています。

テクノロジー／研究開発（１）～未来への挑戦～

アイメーターによる3D・Formテクノロジー

メガネはフレームとレンズをオーダーメイド出来る時代となりました。

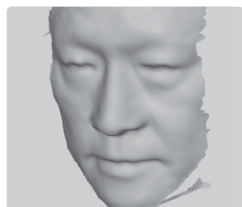
日本のレンズメーカーは、1人1人の目にあったレンズを作ることができる高い技術力をもっています。しかしその検査をするための機器が日本では調達が困難であったため、特に国内のインフラが整っていないのが現状です。そのためオーダーメイド設計レンズの加工に必要な情報（パラメーター）を手に入れられず、結果として標準的なレンズを顧客に提供するにとどまっております。

オーダーメイドのメガネを造り続けてきたアイメトリクス・ジャパンは、この状況の打開をはかるべく、世界初の『EYE-T LENS』システムの開発を先駆けとして、レンズメーカー各社と共同して、お客様の目に合うオーダーメイドレンズを造る『3D・Form』テクノロジーを積極的に推進しております。この一翼を担うのがアイメーターです。

確かな3次元測定システムを使つての採寸、各種データからアセンブリされるマテリアルにこだわった機能性豊かなフレーム、そしてレンズの切削技術とレンズ設計理論、これらの技術力があってこそ実現できる『3D・Form』メガネの存在を眼鏡専門店と消費者の方々に知っていただきたく活動を行っております。

3D計測によりレンズもフレームもトータルに光学設計する「3D FORM」

●顔の形状を3D計測



先進技術から生まれた3D計測機「アイメーター」により、顔の立体形状をより正確に計測、データ化します。

●レンズの設計

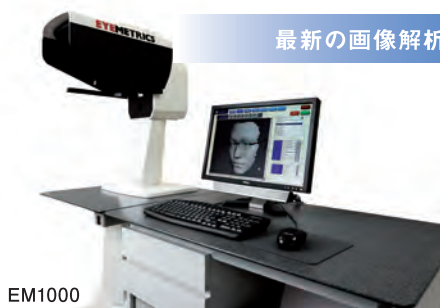


計測データをもとに、各レンズメーカーが一人ひとりにあわせてレンズを光学設計します。

●フレームの設計・加工



レンズがつねに瞳に対して最適な位置にくるようフレームを設計。すべてをフルオーダーメイドで仕上げます。



EM1000

最新の画像解析と計測技術を導入した三次元計測システム



MK-II

アイメーターは、顔の撮影画像より骨格の凹凸を読み取り、正確な計測値を算出することができます。フレームやレンズ、すべてのパーツを立体形状で表示します。

アイメトリクス以外のすべてのメガネに対応する オーダーメイドレンズ計測器「アイメック」

メガネをかけてアイメックの前に座るだけで、目とメガネの位置関係を瞬時に計測。レンズ設計に必要なデータを正確に数値化します。



テクノロジー／研究開発（２）～商品開発のプロセスについて～

01 商品企画



当社では、フレームのデザインを決定する際、最後の決断はファッションよりファンクション（機能性）を優先すべきと考えており、機能性を追求することで機能美というファッション性のある、流行に左右されない商品を作り出せると信じております。

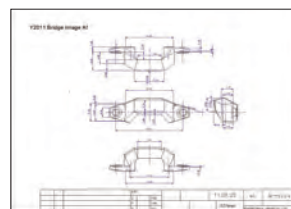
独自の開発プロセスは、業界の常識を超えた試作の繰り返しにより、(ISO12870) に準拠した日本工業規格—眼鏡枠—で要求される寸法精度よりも10倍の精度(交差5/100mm)を維持するため、アイメトリクスのフレームパーツは金型によるキャストイングで製造します。

顔を3次元計測して作るメガネである限り、パーツの設計から製造まですべてを3Dデータで進行管理すべきだと考えているからです。

02 デザイン（CADによるバーチャル確認）

ブリッジの例

アイデアスケッチ展開から、3Dイメージによりレンダリング・詳細デザインとデザイン内で造形作業を行います。



03 デザイン

実寸の5倍ある拡大モデルで何度も繰り返し調整作業を行い設計変更に至る場合もあります。



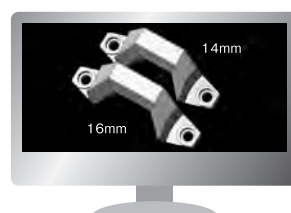
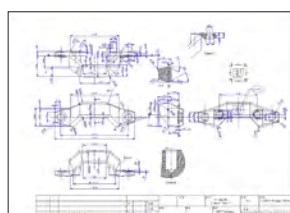
5軸MC機にて5倍寸のモックアップ製作

モデリングのチェック
クレイで肉盛りやヤスリでデザイン修正

再度5倍寸で製作

04 デザインフォロー

さらに精度を要求されるため、5軸MC機で原寸モデルを製作、次にサイズや角度の異なるパーツも含めて製作し、デザインの相似性をチェックします。



05 製造

すべての試作モデリングをチェックした後、金型を作製。
(1モデルにつき10種類以上の金型を用意します)
キャストイングで試作品の寸法（交差5/100mm）を得るために試作を繰り返します。

06 商品加工

加工現場において出荷仕様の最終調整を行います。

07 アピランス

こうして新製品の発売に至るまで、約3年を費やします。



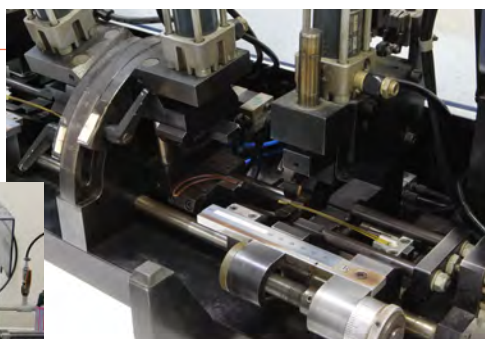
テクノロジー／研究開発（３）

アイメトリクスの専用ラボでは、レンズ・ブリッジ・アーム・パット・ヒンジ・テンプル・イヤープース・リベットなど、１人１人に設計されたラボシートの数値に従って眼鏡を組み立てます。

組み立てに使われる器械は、すべてアイメトリクス用の専用器械です。（各々の組み立て器械は空気圧でコントロールします）

テンプル

ラボシートを基に、テンプルカット（長さ）とイヤープースの挿入（角度）をする



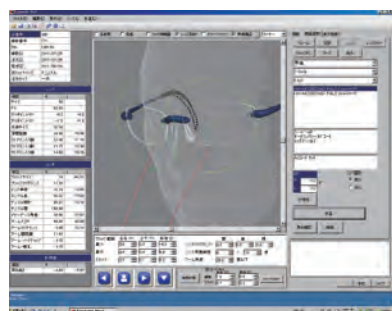
リベット

リベットの挿入（A）と、リベットを熱圧着（B）



ラボシート

アイメーターで計測したデータを数値化



レンズ

ラボシートの数値に基づき、ドリルホルの位置を決めて、レンズに特殊な穴を開ける



ヒンジ

ラボシートどおり角度を決めて、高周波溶着



ノーズパット

パットアーム圧入（A）と、パットの挿入（B）



商品【ブランド】（1）

アイメトリクス・ジャパンがリリースする10種以上のメガネブランド。「メガネは一人ひとりの個性に応じて設計すべきもの」という理念のもと、すべてのユーザーの嗜好やニーズに応えるべく商品ラインナップを充実させています。

Standard

発表以来20年に及ぶロングセラーブランド。顔との一体化というテーマのもと、さまざまなシーンにおいてパーフェクトなフィット感を実現。アイメトリクスの原点ともいえる、科学の粋を集めたハイエンド・メガネです。



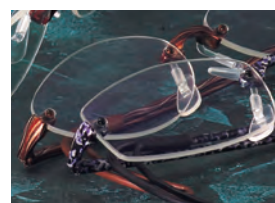
MIST

レンズからイヤーピースまですべてのパーツを透明な素材で仕上げた、スタイリッシュなメガネ。知的で洗練されたイメージだけではなく、豊富なカラーバリエーションや先進の掛け心地も好評のブランドです。



Reiz

アイメトリクスの先進機能はそのままに、新素材ウルテムの特性を活かして実現した個性的なデザインバリエーションが特徴。イタリアでデザインされた20種類ものプリントパターンがオシャレを引き立てます。



MG

軽量で耐久性にも優れたマグネシウムをブリッジとヒンジ部分に採用。また、テンプル部には弾力性の高い非結晶サーモプラスチックポリエーテルイミド樹脂を使用するなど、マテリアルに徹底的にこだわったメガネです。



Alg

アルミニウム・ダイキャストで快適な掛け心地と流れるような曲線美を実現。アイメトリクスの精神を継承し、科学の粋を集めてパーフェクトフィットを追求するオーダーメイドメガネとして進化し続けるブランドです。



Ruta

アイメトリクスの発想と技術力から生まれた、世界初の計測系ハーフリムタイプのメガネ。ステンレルワイヤー・オンフレームの開発やチタニウム素材の採用等により、ハーフリムメガネの新基準をつくったブランドです。



商品【ブランド】（2）

EyeMetrics Useries

日本が世界に誇るコーティング技術である漆と先端科学を融合させた、新しいメガネの価値観を提案するブランド。
熟練の職人が漆技法を駆使して描き出す5つの表情。
そのいずれもが洗練された大人のおしゃれを演出します。



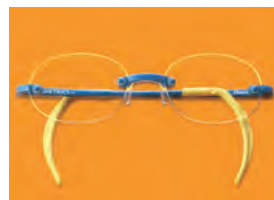
Basel

アイメトリクスの技術を活かしたパーツを、一人ひとりの顔に合わせて組み上げるイージーオーダーメガネ。
カラーバリエーションはもちろんのこと、レンズシェイプの種類も豊富で、自分の個性に合わせて選ぶ楽しみも提供します。



バゼルキッズ

「メガネをかけた子ども達が、思う存分スポーツを楽しむことができないだろうか」。学生時代からメガネをかけてプレーをし、不便さを感じていた元東京ヤクルトスワローズ古田敦也氏のひとことから生まれた機能性と安全性をコンセプトとしたキッズ用メガネです。



Euro

アイメトリクスの技術を活かしたフレームに、ドイツのデザイン力とイタリアの技術力を融合させたユーロテイストのメガネ。埋め込み成型ゆえの柔軟性あるフィット感が得られるとともに、あらゆるシーンや服装ともフィットします。



ALG-6

顔の特徴に合わせた深いカーブを描くハイカーブレレンズが特徴のラップアラウンドメガネ。
アイメトリクスと「Made in Japan」の技術力を融合させ、日本人一人ひとりの顔にフィットする、度付きメガネを作り上げます。



Spartan

まっすぐなラインとエッジのきいたデザインが最大の特徴。
厚めのレンズでもシャープな印象を纏わせる“攻め”のディテールが、掛ける人を凛々しく引き立たせるブランドです。



商品【ブランド】（3）

Corinth

一切の無駄を削ぎ、究極の掛け心地を追求する、
弊社のメガネづくりを未来に受け継ぐブランドです。
いつまでも色褪せないその姿は、新しい歴史の始まりを象徴しています。



EMRiM

アイメトリクス初のフルフレームデザイン。
心地よい掛け心地はそのままに、2016年アイウェア・オブ・ザ・イヤー
メンズ部門グランプリを受賞するなど、
デザインと機能が高次元で融合されたブランドです。



MERGE

フルオーダーのゴルフパター“MERGE”シリーズから、サングラスモデル登場。
日本人の顔によくなじむカーブとゆったりと大きめのデザイン。
専用計測器アイメックで精密なレンズ設計し、
度数が入られる快適なサングラスです。



<参考>

クリップオン・サングラス

【A】ワンタッチでアイメトリクスのメガネをサングラスに変える
EMクリップオン・サングラス。最先端の技術で偏光プレートに
世界ではじめて両面ARコーティングを施し、
より見やすくなってアイメトリクスとの相乗効果を引き出します。
【B】ハイカーブレレンズにアタッチメントできるよう設計された
ALG-6専用フルクリップオンサングラス。ポラロイド機能や反射とキズを防ぐ
コーティングを施し、高性能なラップアラウンド眼鏡専用のサングラスに仕上げました。



フリップグラス

指一本でメガネからサングラスに変えられるフリップグラス。
跳ね上げ式なので、ドライビング時の視界の変化（トンネル出入りなど）、
ゴルフや釣りの手元の操作等、さまざまな変化に瞬時に対応出来るアイテムです。



EJST

「掛け外しのしやすいアイメトリクスを」というお客様のニーズに応えた
ストレートテンプル。幅広のテンプルは存在感抜群、
指先でフィッティング調整が出来る素材を用い、掛け心地の良さを追求しました。
（Standard, Spartan, EMRiMシリーズは除きます）



AnRay

今使っているどんなメガネも、手軽にスタイリッシュな一眼式サングラスに
変えられるアンレイ。度付きサングラスのご購入を検討されている方に最適な、
メガネ専門店だからこそご提案できる商品です。



特約店／販売店

アイメトリクスの特約店はすべてが眼鏡専門店です。

お取引を開始するにあたり眼鏡店としての専門技術、接客業としての理念や信頼など、アイメトリクスをお取扱いいただけるためのレギュレーションを設定し、製品クオリティーとサービスの質を維持しております。

1988年12月にイワキメガネ事業部としてイワキ渋谷店にて最初のお客様をお迎えしました。3台のアイメーターによる1年半のテストマーケティングを経て株式会社アイメトリクス・ジャパンを設立し、1990年7月にアイメトリクス特約一号店が神戸三宮に誕生、現在に至っております。



オーダーいただいたお客様に顧客カードをお渡ししております。

全国140の特約店はアイメトリクスのネットワークとして繋がり、カードを提示いただくことで、オーダーはもちろんメンテナンスや修理などを、お承りしております。

アイメーター設置店舗（2017年1月現在）

- ☐ 国内特約店舗：アイメトリクス販売店141店
- ☐ その他2店舗：韓国(ソウル) ベトナム(ホーチミン)

セカンド・ブランド BASEL取扱い店舗

- ☐ 国内バゼル・シリーズ 販売店 240店

EyeMec設置店舗

- ☐ 国内販売店 148店 ☐ 海外販売店 5店



アイメトリクス・ジャパン沿革（１）

1988年：テストマーケティング開始【イワキメガネ（首都圏）にて】

1990年：（株）アイメトリクス・ジャパン設立（資本金9,000万円）
全国展開の開始。特約1号店・神戸マイスター大学堂

1992年：ヤクルト球団古田捕手とキャラクター契約

1994年：新アイメーター（Windows版）の発表

1995年：新規特約店の募集を再開

1996年：スポーツビジョン・ビジュアルトレーニング施設完成

1997年：全国でアイメーター稼働台数100台となる

1998年：『MIX』発売開始／『Mist（ミスト）』発売開始

1999年：水に浮くアイメトリクス、『Mist.A1（ミスト・エーワン）』発売
イージーオーダー・アイウェア、『Basel（バゼル）』完成（2000年発売開始）

2001年：『Reiz（ライツ）』カラーを発売／スキャン方式の新アイメーター製作に着手

2002年：『EM クリップ・オン・サングラス』を発売／Basel特約店が300店突破

2003年：『MG（エムジー）』を発売／アイメトリクスの海外資本を100%取得

2005年：Wワイドテンブル登場／漆のコーティング技術を使ったUseriesを発売

2006年：新薬事法下での医療機器製造・販売業の認可を受ける

2007年：『Basel ユーロシリーズ』発売／多機能型アイメーター [EM1000] プロトタイプ完成
計測系ステンレスワイヤ・ハーフリムタイプ『RUTA（ルタ）』発売

2008年：アイポイント測定ソフト・センターフィクス完成／
アルミニウム素材・3次曲線デザインの『ALG（アルゴ）』発売／
サッカーの岡田武史氏とキャラクター契約

2009年：注視視線量測定ソフトの完成／レーザースキャン式新アイメーター [EM1000]
店舗での稼働開始／ハイカーブレンズ対応、『ALG-6（アルゴシックス）』発売／
『Basel ユーロシリーズ』発売／ウルテムテンブルの『Ruta27'（ルタ・ダッシュ）』発売

2010年：岡田武史監督仕様、『Ruta28'（七宝焼デザイン・Blue）』発売／世界初の三次元計測
により設計するEYE-Tレンズ発売／全国でアイメーター稼働台数140台となる／
スイスのアイメトリクス・システムズ社の所有する特許権・著作権・商標権を買い取る

2011年：『Basel ストーンシリーズ』追加／『Basel グループユーロシリーズ』追加発売

2012年：レンズの厚みとの一体化を目指したフォルムの『ALG-スパルタン』を発表

アイメトリクス・ジャパン沿革（２）

2013年：一眼式フルカバー・クリップオン『AnRay（アンレイ）』を発売

2014年：アイメトリクス販売価格の改定を実施

ハイブリッドのスリムモデル、『Corinth（コリント）』発売開始

2015年：国内初の、3D・アイポイント計測機 EyeMecの発売開始

世界初の拡散接合による中空削りだしパター『MERGE（マージ）』をリリース

パターのパッティングフォーム解析ソフトを開発

オーダーメイドパターのフィッティング販売を開始

4世代目となる小型軽量位相式3次元計測器、アイメーター [MK-II] を発表

首都圏販売店テリトリーのオープン化を実施

エムリムがIOFT 2016アイウエア・オブ・ザ・イヤー「メンズ部門グランプリ」を受賞

2016年：アイメトリクス初となるフルリムモデル、『EMRiM（エムリム）』の発売開始

跳上式『フリップグラス』、『EJST（イージェスト）』ストレートテンブルを

オプションに追加

小物ブランド『WANOME』を立ち上げ、メガネケースやバッグの発売を開始。

アイメーター [EM1000]、[MK-II] の計測データを利用した3Dフィギュアのプリント

サービスを発表

2017年：大人向けスポーツサングラス『MERGE（マージ）』、発売開始。
